

消費税増税反対の意見書

別府市議会は否決！

・・・3月議会に続いて、6月議会でも・・・

別府市の経済にも大打撃 市内業者の努力に「冷や水」

別府市と商工会議所が実施している「企業景況調査（H23 下半期）」では、「良い」から「悪い」を差し引いたDI値は、**マイナス32.7ポイント**。

別府市が旅館ホテル組合連合会に年間80万円で委託して実施しているマーケティング調査の「オーナーアンケート」（206社）のH23年集計では、**売上高「増加」38%、「横ばい」19%、「減少」42%**です。

いずれも、昨年より若干改善されていますが、依然として苦戦しており、今回の消費税増税は、市内中小業者の必死の努力に冷や水をあびせるものです。

日本共産党議員団（平野・えんど）は26日夕方、市内4ヶ所で「解散・総選挙で増税勢力に審判を」と、呼びかけました。

消費税増税法案が衆議院本会議で可決された翌日の27日は、別府市議会6月定例会の最終日で、国への意見書の採決が行われました。そのなかで日本共産党議員団が提出していた「別府市経済に大打撃を与える消費税増税に反対する意見書」は、日本共産党議員団（2人）以外の議員全員が反対し、否決されました。

日本共産党は

友永副市長の

再任人事案に

反対しました

27日の議会最終日、浜田市長から任期が切れる友永副市長を再任したいという人事案が提案され、日本共産党議員団は反対しました。ほかにも創政会（3人）が反対しました。

副市長は一人でもよい

行政改革ということで市職員数は毎年減らされており、全国でも「副市長は一人」が大半です。別府市も一人です。

友永氏の行政手法には疑問

友永氏は藤ヶ谷清掃センター更新事業の「業者選定委員長」として、30年契約で41億円も高い日立造船を選定しました。

また「市入札資格審査委員長」として、入札参加資格に突然「P点850点以上」という条件を加えて、浜田市長を支持しなかった一部業者を排除しました。

日本共産党はこうした事実を指摘し、再任人事案に反対しました。

げんきニュース

市議会議員 平野文活 猿渡（えんど）久子

2012年7月1日

NO, 515